

開講日	2020年秋期 火曜日 18:30-20:00	講義場所 受講資格	病院西棟1階 臨床シミュレーションセンター 状況によっては実習あり 尚、本科目は名古屋市立大学進化型実務家 教員養成プログラムとの連携科目です。	定員	10-20名程度
コースディレク ター	名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学 教授 笹野寛				

科目概要 および 期待される 成果	【概要】 災害への対応・急性期医療の実際など、緊急事態に対応するための知識や様々なスキルを学びます。 【期待される成果】 災害及び急性期医療に関する緊急事態に対応するための知識やスキルを得ることで、緊迫した状況でも慌てず自分の力を発揮でき、円滑なチーム運営に貢献する人材となることを目指します。新型コロナウイルスの流行により新たに考慮すべき内容に関しても学びます。				
目標とする 資格	医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、ケアマネージャー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士、行政職、教員、医療関係職など				

L-1	1	災害医療体制	予想される東南海トラフ地震などに備えた災害医療における我が国の医療体制について講義形式で学びます。	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	9月1日
L-2	2	災害への備え	東日本大震災時の派遣体験から考える地域力・自助力について学びます。	名古屋市中区保健福祉センター 日高橘子	9月8日
L-3	3	災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の役割	被災自治体の「保健医療調整本部および保健所」機能の支援を行う災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の活動について学びます。	名古屋市保健所長 浅井清文	9月15日
L-4	4	災害時の薬局医療支援	実際の災害現場(東日本大震災、熊本地震、クルーズ船ダイヤモンドプリンセスでの感染症など)における多職種連携や事業継続計画(BCP)について学びます。	岐阜薬科大学実践社会薬学 准教授 林秀樹(実務家教員)	9月29日
L-5	5	心肺蘇生法と除細動器1	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際の、マネキンを使って体験学習します。	部長 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	10月6日
L-6	6	心肺蘇生法と除細動器2	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際のを学びます。	部長 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	10月13日
L-7	7	中毒・熱傷の管理	救急診療に必要な中毒および熱傷の管理方法について学びます。	部長 松嶋麻子(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	10月20日
L-8	8	災害と感染症	災害時における問題となる感染症に関して学びます。	部長 松嶋麻子(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	10月27日
L-9	9	気道管理法	用手および器具を使った気道確保・管理法や、窒息傷病者に対する緊急処置を学びます。	部長 笹野 寛(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	11月10日
L-10	11	災害時におけるトリアージ	災害時に必要なトリアージについて学びます。	寺西 幸子・清水 真奈美 名古屋市立大学病院救命救急センター看護師	11月17日
L-11	12	脳卒中の初期治療	脳卒中患者の救急外来における標準化された初期診療について講義形式で学びます。	副部長 三浦 敏靖(実務家教員) 名古屋市立大学病院 神経内科	11月24日
L-12	13	小児科救急疾患	小児科領域の救急疾患とそのプライマリーケアについて講義形式で学びます。	助教 今井 一徳(実務家教員) 名古屋市立大学病院 救急科	12月1日
L-13	14	精神疾患の対応	急性期医療などにおける精神疾患および精神的な対応に関して講義形式で学びます。	宮崎 ゆか(実務家医師) 名古屋市立大学病院救急科・こころの医療センター	12月8日
L-14	15	外傷の初期対応(胸部・腹部・骨盤外傷など)	外傷に対する初期対応について講義形式で学びます。	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	12月15日
L-15	10	化学災害・化学物質テロなどの現状と対応	化学物質の特性・管理・災害時等での対応について学びます。	教授 酒々井 真澄(実務家教員) 名古屋市立大学脳神経科学研究所神経毒性学分野	12月22日